



資料No.4

# 令和7年度 当初予算のポイント

ひら  
～人が集い 未来を拓く ものづくりと文化のまち～

令和7年2月  
安来市

# 当初予算の概要

## 総合計画の将来像

～人が集い 未来を拓く ものづくりと文化のまち～

### 5つの理念

活力

「活動的でいきいきしているまち」

快適

「便利で住みよいまち」

らしさ

「地域らしさがあり、独自性のあるまち」

つながり

「立場をこえて支えあっているまち」

安心

「不安なく暮らせるまち」

## 令和7年度当初予算のテーマ

「新たなやすぎ 未来創造予算」

# 当初予算の概要

## 令和7年度当初予算の構成

一般会計 288億7,000万円(対前年度比 18億円増 増減率 6.6%)

特別会計 109億1,745万円(対前年度比 2億4,967万円増 増減率 2.3%)

①国民健康保険事業 ②後期高齢者医療事業 ③介護保険事業 ④電気事業 ⑤財産区（母里・井尻・赤屋）

### ○一般会計の主な増額要因

事業名	予算額	前年比
養護老人ホーム鴨来荘移転新築事業	14億6,220万円	+13億85百万円余
安来スマートインターチェンジ（仮称）整備事業	6,430万円	皆増
安来港飯島線道路改良事業	6億3,010万円	+2億98百万円余
大塚団地整備事業	3億4,442万円	+2億59百万円余
定額減税補足臨時特別調整給付事業	1億3,065万円	皆増
児童手当給付事業	6億4,887万円	+1億82百万円余

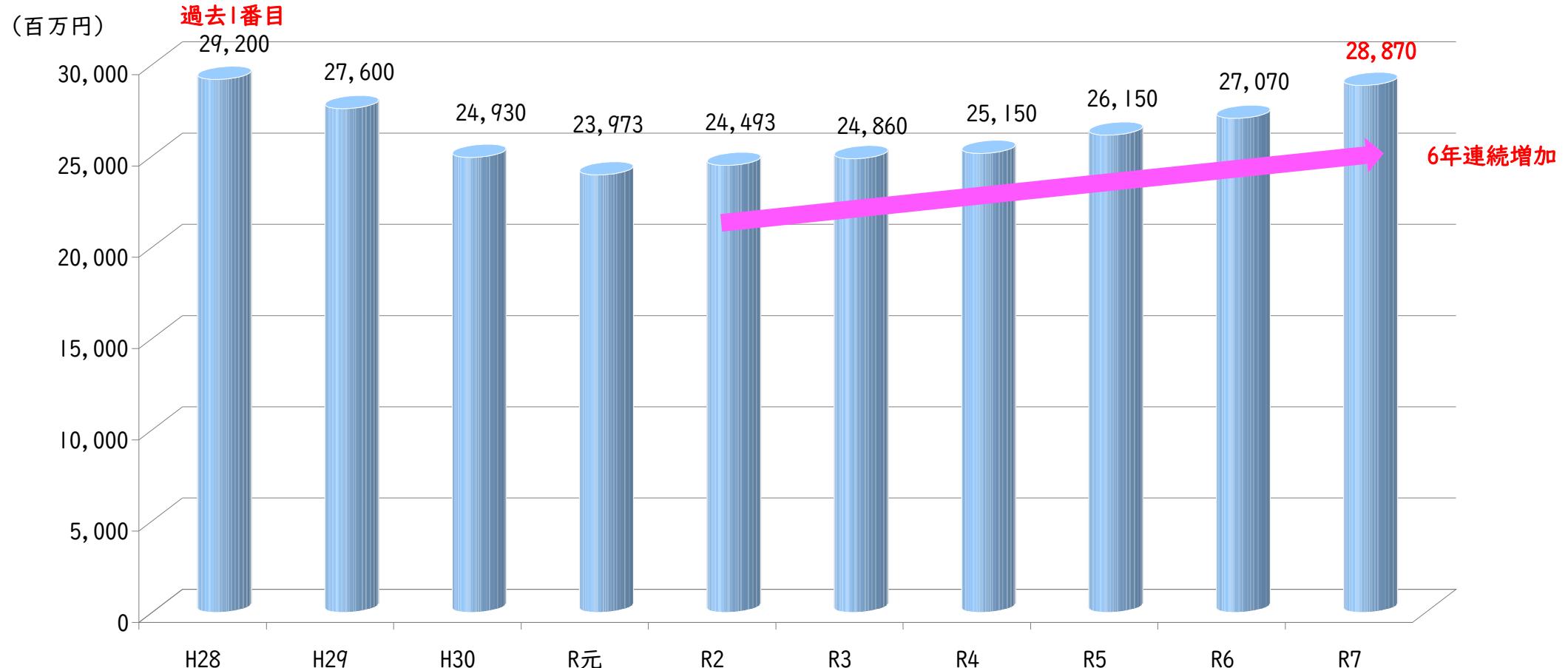
# 当初予算の概要

## 当初予算額の推移

予算規模

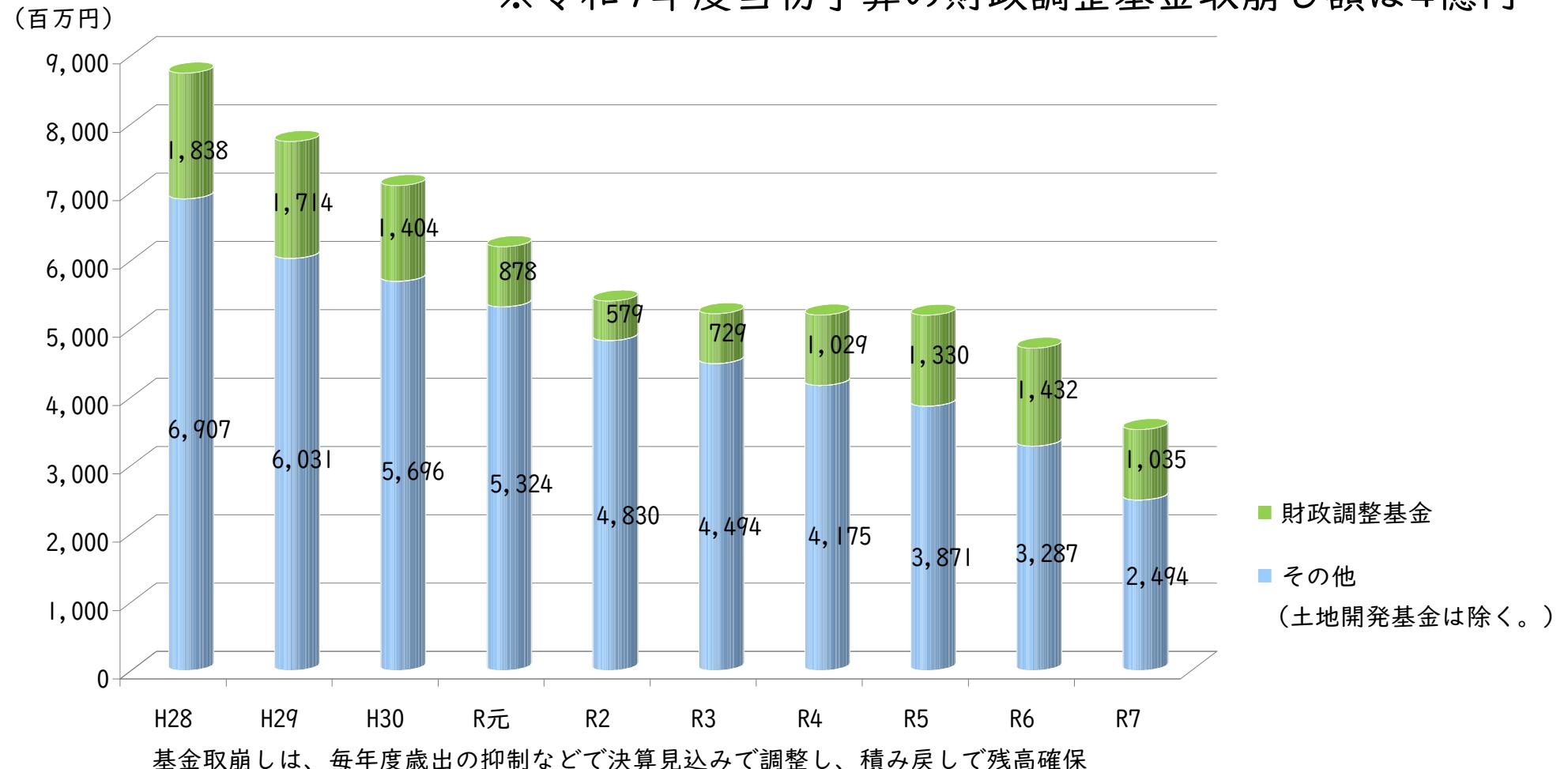
令和2年度以降、6年連続増加

合併後、平成17年度以降、2番目に大きい規模



# 当初予算の概要

## 基金残高の推移

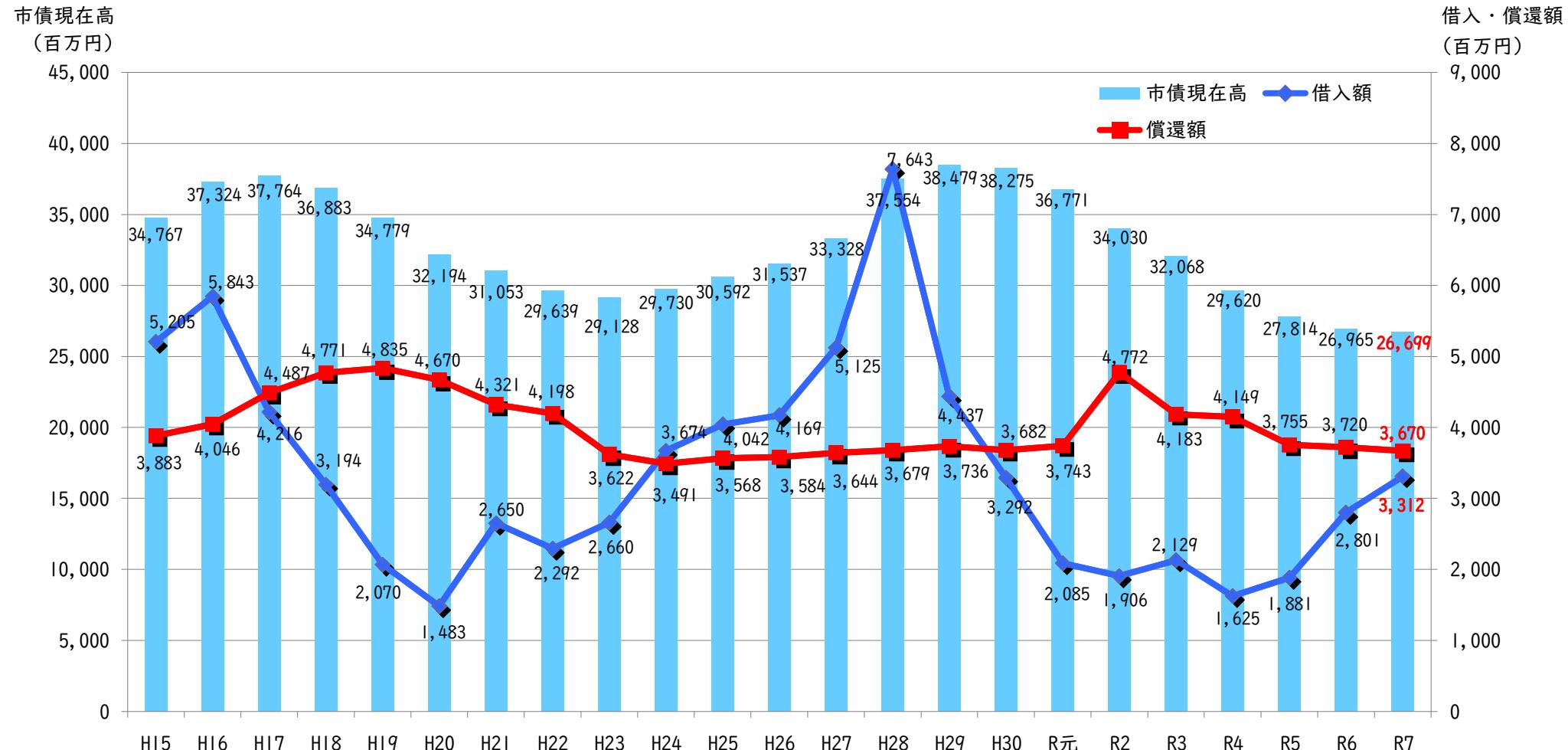


# 当初予算の概要

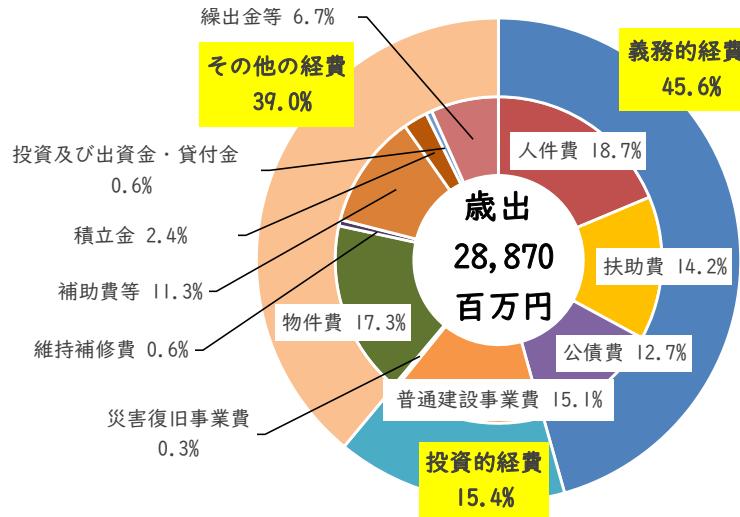
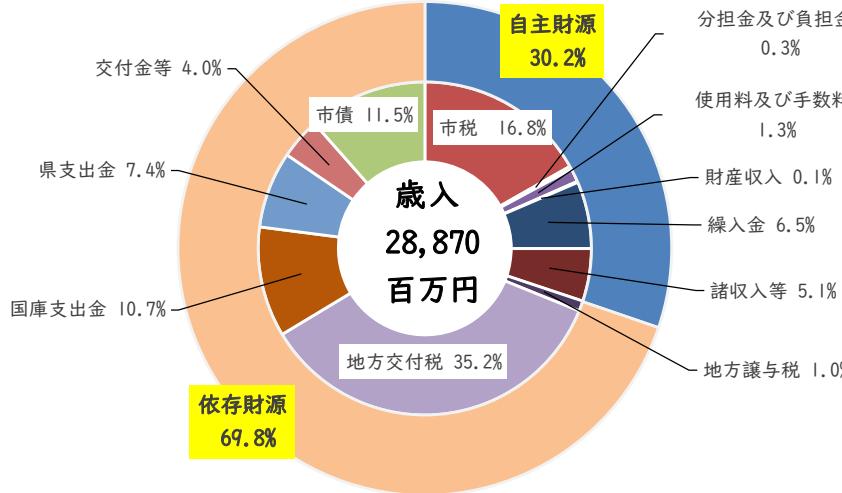
市債現在高及び借入・償還額の推移

市債現在高は合併後最小

元利償還金は直近10年（平成28年度以降）で最小



# 当初予算の概要



区分	R7年度	R6年度	比較
<b>自主財源</b> (市税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、繰入金、諸収入等)	8,719,636	8,365,411	354,225
<b>依存財源</b> (地方譲与税、地方交付税、国庫支出金、県支出金、交付金等、市債)	20,150,364	18,704,589	1,445,775
合計	28,870,000	27,070,000	1,800,000

区分	R7年度	R6年度	比較
<b>義務的経費</b> (人件費、扶助費、公債費)	13,165,247	12,380,171	785,076
<b>投資的経費</b> (普通建設事業費、災害復旧事業費)	4,447,124	3,424,620	1,022,504
<b>その他の経費</b> (物件費、維持補修費、補助費等、積立金、投資及び出資金・貸付金、繰出金、予備費)	11,257,629	11,265,209	△7,580
合計	28,870,000	27,070,000	1,800,000

# 3つの重点施策

## ①人口減少対策

若い世代の人口減少を抑制しながら、市民一人ひとりが満足度の高い生活ができる、持続可能なまちづくりに向けて、具体的な施策を掲げ取り組んでまいります。

### 【主要事業】

- ・総合計画・総合戦略推進事業

## ②新たなまちづくり

安来スマートインターチェンジ（仮称）の周辺開発や株式会社出雲村田製作所の工場立地、地域を愛する「ひとつづくり」の推進、高校と地域との関わりを深め、地域の次世代を担う人材の育成、地域の将来を担う若年層の人材還流を目指して取り組んでまいります。

### 【主要事業】

- ・安来スマートインターチェンジ（仮称）整備事業
- ・工業立地推進
- ・ふるさと教育推進事業
- ・高校魅力化推進事業
- ・つながり創出による市内就職促進事業

## ③行財政改革

毎年度の行財政改革に積極的に取り組み、事務事業の見直しに加え、新たなまちづくりに必要となる財源確保など、次の世代につなぐ安来市のため、安定した財政基盤づくりを進めてまいります。

### 【主要事業】

- ・基金運用
- ・高圧電力電気需給契約見直し

# ①人口減少対策

## 総合計画・総合戦略推進事業 【継続】 1,014万円

この度、安来市人口ビジョンの見直しを行い、**国立社会保障・人口問題研究所による2070年の推計人口から約5千人の増加を目指した、人口2万人の維持を新たな目標に掲げることとしている。**

新たな目標人口や基礎調査結果をもとに、外部委員による審議を重ね、令和8年度から令和17年度までを計画期間とする、安来市の将来像や具体的な施策を示す、第3次安来市総合計画と第3期安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略を令和7年度に策定する。

【策定スケジュール（実績と今後の予定）】	
令和6年度	9月 キックオフイベント（総合計画） 基礎調査（市民アンケート等）
11月	第1回安来市総合計画審議会 第1回本部会議（人口ビジョン）
1月	第2回本部会議（人口ビジョン）
2月	パブリックコメント（人口ビジョン） 第2回安来市総合計画審議会
3月	人口ビジョンの策定・公表
令和7年度	4月 市民ワークショップ 6月 第1回安来市総合計画審議会 7月 タウンミーティング 8月 第2回安来市総合計画審議会 11月 第3回安来市総合計画審議会 パブリックコメント 12月 基本構想の議案提出 総合計画及び総合戦略案の策定 3月 総合計画及び総合戦略の策定・公表



R6.9.23 キックオフイベント



R6.11.22 第1回安来市総合計画審議会

## ②新たなまちづくり

### 安来スマートインターチェンジ（仮称）整備事業【継続】 6,430万円

安来スマートインターチェンジ（仮称）整備事業については、令和6年9月に国土交通省から新規事業化の決定が発表された。安来スマートインターチェンジ（仮称）を新たに設置することにより、観光や産業の振興をはじめ、災害時における復旧活動や救命救急医療の迅速化など、多くの効果が期待できる。令和7年度から西日本高速道路株式会社と連携しながら、測量設計に取り組む。

また、スマートインターチェンジの周辺開発も考慮しながら、新たなまちづくりを推進する。

R6.9.6国土交通省報道発表資料より



### 工場立地推進【債務負担行為】 限度額 16億2,355万円

株式会社出雲村田製作所、島根県、安来市の三者による「切川地区での工業用地の造成に係る基本合意協定書の締結に向けた協議」を進め、協定の締結と造成工事へと事業を進めていくため、予算の裏付けとなる債務負担行為を設定する。

## ②新たなまちづくり

### ふるさと教育推進事業 【継続】

570万円

地域の「ひと・もの・こと」に関わる学習を通じ、地域に対する愛着と誇りをもち地域に貢献する心情や態度を育てる。

### 高校魅力化推進事業 【継続】

914万円

高校と地域が行う協働活動をプロデュースする「運営マネージャー」及び「魅力化コーディネーター」の役割を担う「高校魅力化推進員」を配置する。また、高校と市内中学校及び県内大学との連携を推進し、市内外からの入学生の増加を図るとともに地域の将来を担う人材を育成することで、安来市の定住対策にも大きく寄与する人材還流サイクルの構築を図る。



高大連携事業KENDAI未来アトリエ

### つながり創出による市内就職促進事業 【継続】

600万円

市内出身の大学生に対して企業情報誌の作成や市内企業の合同説明会を開催するなど、地域の将来を担う若年層の人材還流を目指した取組を強化するとともに、「安来企業ガイドブック」の改訂を行う。



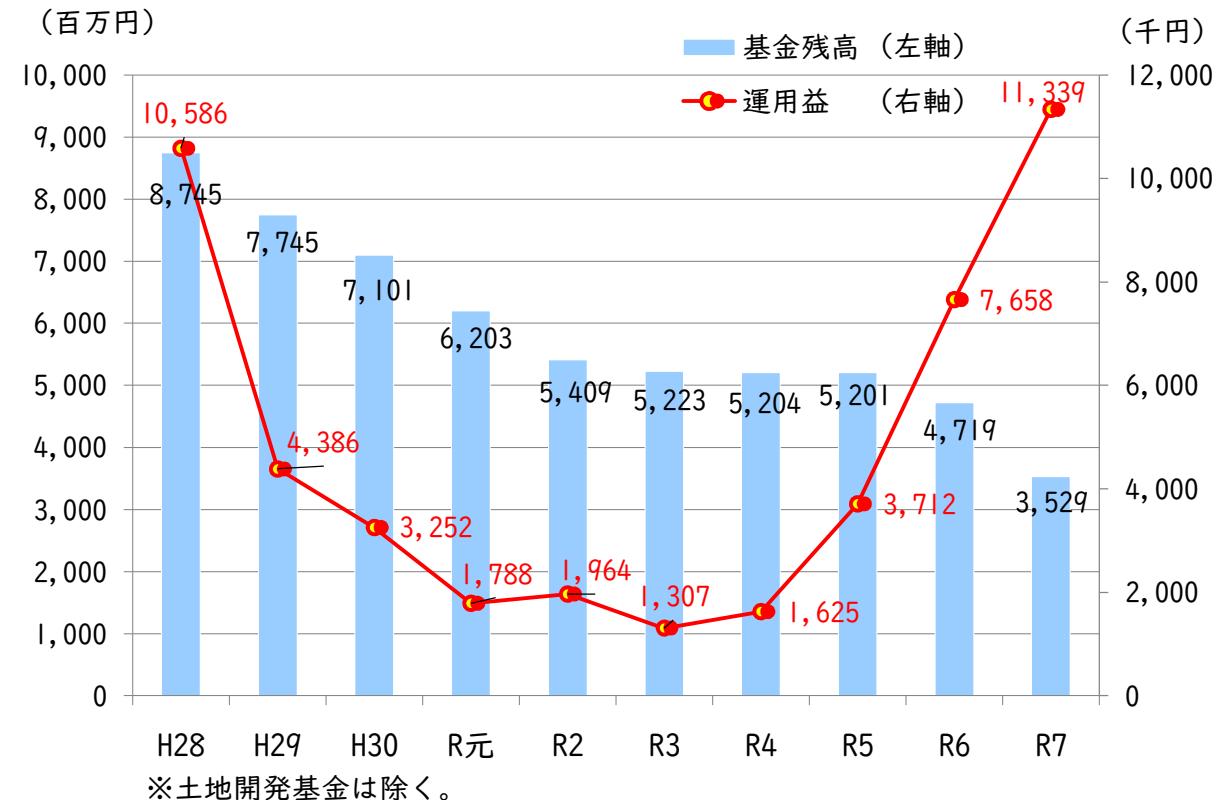
やすぎ就活スタートガイダンス

### ③行財政改革

#### 基金運用 【継続】

基金を効率的に運用するため、令和3年度より基金の債券運用を実施。令和6年度末に13の基金により構成される特定目的基金について、統合が可能な基金の統合を実施し、特定目的基金を7基金とする予定としている。

統合した基金は一括管理基金として、まとめた金額で債券運用を行うことで、令和7年度においては、**1千万円を超える運用益の確保**を見込んでいる。



#### 高圧電力電気需給契約見直し 【新規】

市の所有施設における高圧電力の需給契約について、令和6年度に電力会社と料金メニューの比較検討を行い、施設ごとに電力調達方式の見直しを行った。これにより、令和7年度の高圧電力料金は**3千万円を超える削減効果額**を見込んでいる。

# 令和7年度一般会計予算

# 令和7年度主要施策

## I. 保健・医療・福祉

1 医師・看護師等確保対策事業	PI6
2 健康やさぎ2+計画策定	PI6
3 フレイル予防事業	PI6
4 带状疱疹予防接種事業	PI6
5 市立病院基本構想	PI7
6 松江圏域における医療機能の連携推進	PI7
7 医療DX推進事業	PI7
8 介護人材資質向上促進事業	PI7
9 介護人材定着支援事業	PI8
10 訪問介護事業所開設支援事業	PI8
11 ふれあいプラザ・夢ランドしらさぎ管理事業	PI8
12 養護老人ホーム鴨来荘移転新築事業	PI8
13 発達障がい児支援事業（発達支援ルーム）	PI9
14 障がい児通所等給付事業（施設医療、福祉サービス）	PI9
15 子どもの居場所創出支援事業	PI9

## 2. 子育て・教育・文化

16 子ども医療助成事業	P20
17 マタニティ応援プロジェクト事業、給食費助成事業（金芽米）	P20
18 出産応援デジタルギフト贈呈事業	P20
19 保育人材確保対策事業	P20
20 医療的ケア児保育支援事業	P20
21 放課後児童健全育成事業	P21
22 幼児通級指導教室事業	P21
23 妊娠・出産包括支援事業（旧産後ケア事業）	P21
24 学校運営協議会設置事業	P21
25 小中学校適正配置事業	P22
26 学習支援員・スクールサポートスタッフ等配置事業	P22
27 部活動地域指導者活用支援事業・部活動地域移行検討事業	P22
28 給食センター管理事業	P22
29 中心市街地活性化事業	P23
30 スポーツ推進審議会審議事業	P23
31 国スポ・インターハイ準備事業	P23
32 体育施設整備事業	P24
33 eスポーツ普及事業	P24
34 和鋼博物館改修事業	P24
35 安来市文化財保存事業	P25
36 「新・BS日本のうた」の公開収録	P25
37 國際交流事業	P25

### 3. 防災・防犯

38 災害調査アプリケーション構築事業	P26
39 防災マップ更新事業	P26
40 内水対策事業	P26
41 消防指令システム事業	P27
42 消防ポンプ自動車更新事業	P27
43 消防比田分駐所解体事業	P27

### 4. 産業・観光・雇用

44 担い手経営発展支援事業・ハウス等整備支援事業	P28
45 新規就農円滑化対策事業	P28
46 中山間地域等直接支払交付金交付事業	P28
47 全共・全ホル共進会事業	P29
48 林業産官学連携事業	P29
49 林業人材育成拠点整備事業	P29
50 県営農業農村整備事業	P30
51 情報通信環境整備対策施設整備事業	P30
52 企業立地雇用促進奨励金事業	P31
53 ソフト産業誘致推進事業	P31
54 安来節振興事業	P31

### 5. 都市基盤・生活

55 立地適正化計画策定	P32
56 高留鼻線道路改良事業	P32
57 黒井田町地内埋蔵文化財発掘調査事業	P32
58 安来港飯島線道路改良事業	P33
59 原代宮内線道路改良事業	P33
60 広域生活バス代行運行事業	P34
61 宇賀荘あいのりタクシー事業	P34
62 空家等対策事業	P34
63 旧長谷津団地譲渡事業（債務負担行為）	P34
64 公営住宅等整備事業	P35
65 水道施設等耐震化事業	P35
66 フェムトセル設置事業	P35

## 6. 自然・環境保全



## 7. 參画・協働・行財政

# I. 保健・医療・福祉

72億8,509万円

## I 医師・看護師等確保対策事業 【拡充】 960万円

島根大学医学部地域枠及び安来市の奨学金を受けた者を中心に、安来市の地域医療に対する関心を深める場として、医療従事者を交えた交流会等を開催する。また、医師・薬剤師及び看護師の養成及び確保に資することを目的とし、安来市出身の医学生、薬学生、看護学生に奨学金を貸与する。特に不足している医師の確保のため、医学生への貸与額については拡充を行う。 医学生 5万円/月 → 20万円/月

## 2 健康やすぎ21計画策定 【新規】 792万円

健康増進計画と食育推進計画を包含した「健康やすぎ21」について、令和8年度から令和17年度までを計画期間とする第4次健康増進計画及び第3次食育推進計画を策定する。

## 3 フレイル予防事業 【新規】 445万円

健康寿命の延伸を目指して、効果的なフレイル予防事業を実施していく。令和7年度からは、令和6年度に導入したフレイル予防アプリを活用し、フレイルチェックによる個人の状態に応じた事業やサービス等を案内する。また、市民に対し、社会参加への動機付けをする動画を作成し、様々な場面で啓発を実施する。

## 4 帯状疱疹予防接種事業 【新規】 2,941万円

従来の各種予防接種事業に加えて、令和7年度から国の定期接種となる帯状疱疹ワクチンの予防接種について、年度年齢で、65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる者及び60歳以上65歳未満の者でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいを有する者を対象に、帯状疱疹の発症予防のため実施する。

## 5 市立病院基本構想 【新規】 1,257万円

市立病院が将来にわたり安定して医療を提供し続けるため、「安来市医療提供体制検討委員会」での経過を踏まえ、引き続き2つの病院で安来市の医療提供の将来像について議論を深め、市立病院の基本構想を策定する。



安来市立病院

## 6 松江圏域における医療機能の連携推進 【継続】 (病院事業会計実施)

松江医療圏の10病院で締結した医療機能連携協定を基に、病院間の連携を強化し、相互の機能を補完し合うことで、地域全体で質の高い医療を持続的に提供する体制を推進する。

## 7 医療DX推進事業 【新規】 (病院事業会計実施)

安来市立病院では、遠隔医療システム「テラドックヘルス」の活用により、鳥取大学医学部附属病院と連携し、救急医療等において専門医による診察とアドバイスを受けられる体制を整えている。新たな取組として、地域において適切な医療サービスを受けられるようマルチタスク車両とテラドックヘルスを用いた巡回診療の実施を検討する。

## 8 介護人材資質向上促進事業 【拡充】 310万円

介護職の魅力発信や介護職への就業希望者の資格取得支援、市内事業所へのマッチング、就業中の介護職員のキャリアアップ等を支援する。



介護職員初任者研修



介護の出前授業

**9 介護人材定着支援事業 【継続】 528万円**

介護サービス事業所等の人材確保支援及び市内への定住促進を目的として、事業所運営法人に対して住宅手当又は社宅借上げ費用の一部を支援する。

**10 訪問介護事業所開設支援事業 【継続】 1,030万円**

中山間地域の訪問介護事業所の開設及び経営安定に必要な初期投資を市独自に支援し、中山間地域の居宅介護サービス提供体制の強化を図る。令和7年度は、伯太町井尻地区、広瀬町布部地区に開設される訪問介護事業所の開設を支援する。

**11 ふれあいプラザ・夢ランドしらさぎ管理事業 【新規】 7,753万円**

指定管理者に施設の管理運営を委託し、健康増進及び介護予防を図る。また、令和6年度に行っているサウンディング型市場調査の結果を踏まえながら、今後の施設運営の方針の検討を行う。

- 指定管理委託、施設及び機械設備の修繕

**12 養護老人ホーム鴨来荘移転新築事業 【拡充】 14億6,220万円**

養護老人ホーム鴨来荘の移転新築工事を行う。令和8年開設に向け準備を進める。



完成イメージ図

**13 発達障がい児支援事業（発達支援ルーム）【拡充】 782万円**

発達障がいの疑い、あるいは経過観察が必要な児童を小集団における関わりを通して心身の発達を促しスムーズな就学につなげる。令和7年度は、スタッフを増員することで体制を強化し、よりきめ細やかな対応となるよう取り組む。

**14 障がい児通所等給付事業（施設医療、福祉サービス）【拡充】 1億4,706万円**

在宅及び施設に通所する18歳未満の障がい児に、児童福祉法に基づく通所支援サービスを提供することにより、各々の障がいの程度に応じた自立を支援する。令和7年度は、既存の3事業所に加えて、新たに1事業所が開設を予定されている。

**15 子どもの居場所創出支援事業 【拡充】 110万円**

子ども食堂の新規開設や、既に子ども食堂を実施している団体等が事業を継続して実施するために要する経費を助成する。

## 2. 子育て・教育・文化

56億1,295万円

### 16 子ども医療助成事業 【拡充】

1億6,484万円

子どもが安心して医療にかかることができる環境づくりのため、県の医療費助成事業を実施する。また、市の単独助成制度により、保護者の経済的負担の軽減を図る。令和7年度からは、高校生年代まで対象者を拡大する。

### 17 マタニティ応援プロジェクト事業、給食費助成事業（金芽米）【継続】

2,942万円

特別な精米で、ビタミンやミネラル、食物繊維などを多く含む金芽米を妊婦及び産婦に無償提供することで、妊婦の健康を食事の面からサポートし、これから生まれる胎児の健やかな成長を支援するとともに、妊娠婦及び乳児の健康の保持及び増進を図る。

また、市内の就学前施設、学校給食で金芽米を使用し、子どもたちの穏やかな成長を支援するとともに、就学前施設では無償で提供し、子育て世帯の負担軽減を図る。

### 18 出産応援デジタルギフト贈呈事業 【新規】（令和6年度3月補正予算）

市内250店舗以上で使用できるdポイントを付したデジタルギフト券を妊婦の方に贈呈し、妊娠期の経済的負担軽減を図る。

### 19 保育人材確保対策事業 【拡充】

779万円

保育士の負担軽減、働きやすい環境を整備するため、保育士補助者、保育に係る周辺業務を行う者（保育支援者）の雇用に係る費用の一部を補助する。また、保育士派遣にかかる管理費を補助する。

### 20 医療的ケア児保育支援事業 【拡充】

823万円

日常的に医療的ケアが必要な子どもを認定こども園で受け入れるため、ケアを行う看護師などを配置する。

**21 放課後児童健全育成事業 【拡充】 1億8,269万円**

保護者が労働等により昼間家庭にいない児童を対象として、放課後や長期休業時に「遊びの場」「生活の場」を提供し、子どもの主体性を尊重しながら健全な育成を図るため、各小学校区において放課後児童健全育成事業を実施する。令和7年3月の春休みからは、民設民営の放課後児童クラブ「こそけん学園安来中央校（第1、第2）」が開設され、17クラブ・19支援単位で事業を実施する。



放課後児童クラブの様子

**22 幼児通級指導教室事業 【新規】 91万円**

スムーズな就学につなげるために小学校就学前から必要な支援を行うとともに、子どもが自分らしく、自分のペースでコミュニケーションスキルやソーシャルスキル等を身につけていくことができるよう、心身の調和的発達の基盤を培う場として、幼児通級指導教室の開設に向けて準備を進める。

**23 妊娠・出産包括支援事業（旧産後ケア事業）【新規】 4,784万円**

妊娠婦等が抱える悩み等について相談支援等を行う「産前・産後サポート事業」、出産後の母子に対して心身のケアや育児支援を行う「産後ケア事業」を実施するとともに、これらの事業を行う市内施設の修繕及び必要な備品の設置を行う「産後ケア・産前・産後サポート施設整備事業」を一体的に実施し、安心して出産、子育てができる支援体制を新たに構築する。

**24 学校運営協議会設置事業 【継続】 111万円**

学校と地域が相互に理解を深め、教育活動を充実させることを目的とし、市内全ての小中学校に学校運営協議会を設置し、教育活動を充実させるとともに、魅力ある学校づくりを進める。

**25 小中学校適正配置事業 【新規】 1,732万円**

令和5年11月に策定した「安来市立小中学校適正配置基本計画」に基づき、再編対象となっている学校の個別基本計画策定、開校に向けた準備会の開催など適正配置の推進を行う。

**26 学習支援員・スクールサポートスタッフ等配置事業 【拡充】 6,216万円**

教職員の業務負担軽減のためスクールサポートスタッフを全校に配置する。また、外国人転入児童対応のための学習支援員の配置を行う。

**27 部活動地域指導者活用支援事業・部活動地域移行検討事業 【拡充】 720万円**

専門的な指導者がいない中学校の部活動において、実技指導力を備えた地域の社会人指導者（地域指導者・部活動連携指導員等）の活用を支援することにより、部活動の活性化及び教員の働き方改革を図る。また、子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に継続して親しめる環境を地域において整えていくために、部活動の在り方についての検討を進める。

**28 給食センター管理事業 【拡充】 4億7,861万円**

給食センターの管理運営と学校給食費の徴収及び給食食材の調達・調理・配送を行う。  
 ●全小中学校に給食を提供する。（約3,000食/日）



調理作業の様子



子どもの日献立

## 29 中心市街地活性化事業 【拡充】 362万円

産業競争力強化法に基づく創業支援計画に基づき、市内における創業、第二創業の実現に向けて、商工団体と連携しながら創業支援事業を実施する。また、令和7年度末で計画期間が満了する安来市創業支援等事業計画を更新する。

令和6年度より実施した「やすぎ懐古館一風亭学習室」の運営を引き続き指定管理者に委託し、高校生の学習環境確保に取り組む。



起業セミナーの様子

## 30 スポーツ推進審議会審議事業 【新規】 31万円

第2期安来市スポーツ推進計画の進捗管理及び令和8年度以降を計画期間とする第3期安来市スポーツ推進計画の策定を行う。

## 31 国スポ・インターハイ準備事業 【拡充】 2,476万円

令和7年度「全国高等学校総合体育大会」は中国ブロックで開催（会期：8月5日～8月9日）され、安来市は「フェンシング」競技の開催地となる。また、令和12年度は「第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会」が島根県で開催され「テニス」「バレーボール」「フェンシング」の3種目を安来市で開催することが決定している。

大会の開催に向け、競技力向上を目指すとともに、市民の機運醸成を図るため、各競技団体との調整など事前準備を進める。

## 32 体育施設整備事業

【継続】

890万円

体育施設の施設改修及び整備を行い、安全で快適なスポーツ環境を提供する。

- 国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会会場改修基本計画策定
- 安来運動公園野球場スコアボード改修設計委託

## 33 eスポーツ普及事業

【継続】

100万円

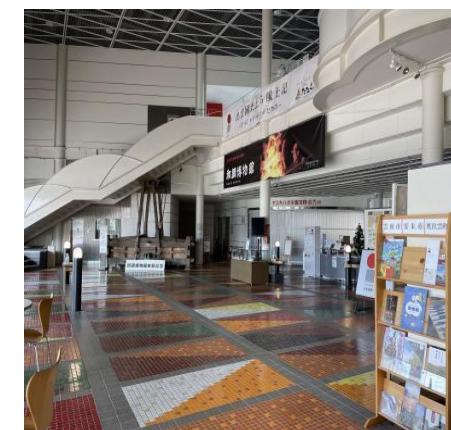
年齢や性別、障がいの有無等関係なくオンライン上で交流できる「eスポーツ」のイベントを開催することで、関係人口の拡大や地域の活性化につなげる。また、福祉分野との連携などを検討する。

## 34 和鋼博物館改修事業

【継続】

1,254万円

エントランスホール、第1展示室、第2展示室の大型空調設備の改修に向け、エネルギー源（現在は重油）の選定にあたり、基本設計により設備導入費と維持費を比較し、適正な方式を選定し、併せてその詳細設計を行う。



エントランスホール



第2展示室

## 35 安来市文化財保存事業 【継続】 198万円

重要文化財雲樹寺四脚門の修理事業に補助金を交付する。軒付の腐朽や屋根瓦の傷みなどが目立ち、前回修理から90年近くが経過しており修理が待たれることから、令和6年～7年度事業で屋根葺替を中心とする部分修理を行う。令和7年度は、6年度に解体を行った屋根瓦葺替や腐朽部材の取替えなどの部分修理を行う。工期は令和7年10月末までを予定している。



修理を行う雲樹寺四脚門

## 36 「新・BS日本のうた」の公開収録 【新規】

総合文化ホール「アルテピア」において、令和7年10月23日にNHK2025全国放送公開番組「新・BS日本のうた」の公開収録が決定。

## 37 国際交流事業 【拡充】 512万円

姉妹都市の韓国密陽市と友好交流都市の台湾新店区について、安来市の中学生が現地の中学生との交流を通じて相互理解を深め、国際感覚を養うことを目的に、市内在住の中学生を海外に派遣する青少年海外研修事業を実施する。また、その他の幅広い分野での交流促進に向けて、引き続き行政交流を行う。



青少年海外研修事業  
(密陽市)



台湾新店区への訪問  
(交流事業の協議)

### 3. 防災・防犯

10億1,442万円

#### 38 災害調査アプリケーション構築事業

【新規】

370万円

公開型GISと連動する防災システムを導入し、発災時に関係課と横断的に情報共有を図る。

#### 39 防災マップ更新事業

【新規】

960万円

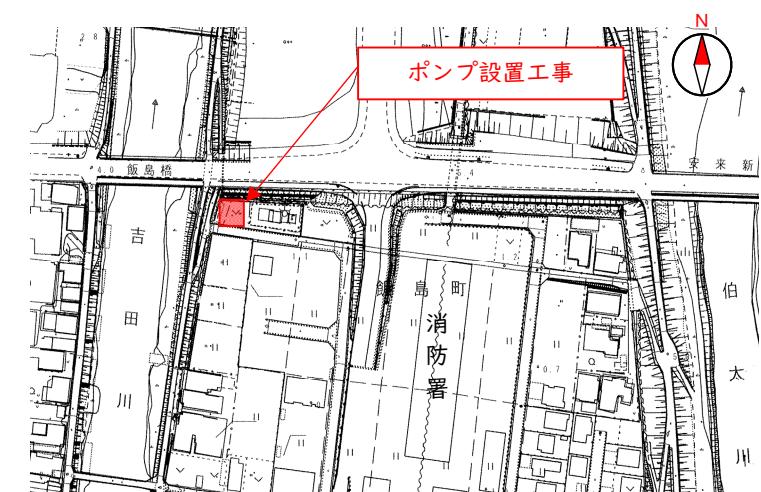
新たに島根県が公表する洪水浸水想定区域を反映した「やすぎ市民防災マップ」を更新し、市内全戸に配布する。

#### 40 内水対策事業

【拡充】

850万円

豪雨等により浸水被害を受けたエリアの対策検討を行い、改善に向けた施設整備を行う。令和7年度は東飯島地区の排水ポンプを年次計画により引き続き整備するなど内水対策を進める。



(東飯島地区内水対策事業)

**41 消防指令システム更新事業 【新規】 1,182万円**

24時間常時出動体制を確保し、消防業務を円滑に遂行するため消防施設を適正に維持・管理する。災害時の適切かつ迅速な対応を可能にするためには、消防施設の充実を図ることが重要であり、緊急通報を受信する消防指令システムについて、令和7年度は指令システムの維持に最低限必要となる電源設備の部分的な更新を行う。

**42 消防ポンプ自動車更新事業 【継続】 5,148万円**

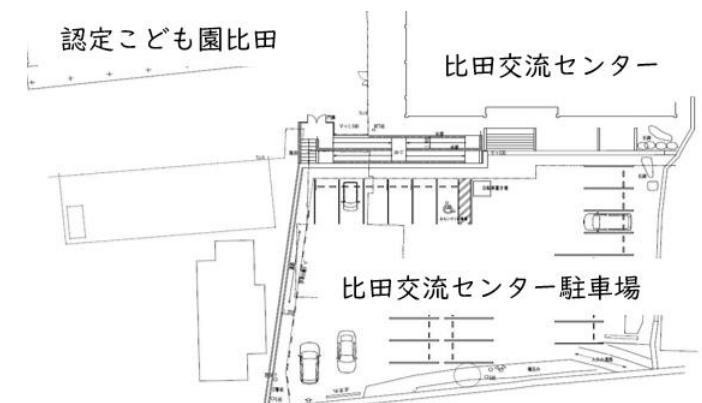
平成15年に整備した伯太消防ポンプ自動車の更新を行う。消防ポンプ自動車は納期に時間が掛かるため、債務負担行為を設定し、令和6年度に契約、令和7年度に納車を行う。



消防ポンプ自動車（イメージ）

**43 消防比田分駐所解体事業 【継続】 3,500万円**

安来市消防署比田分駐所の解体後の跡地を利用し、比田交流センター駐車場及び周辺の整備を行う。



比田交流センター駐車場整備イメージ

## 4. 産業・観光・雇用

25億6,867万円

### 44 担い手経営発展支援事業・ハウス等整備支援事業 【継続】

5,427万円

農業の担い手支援については、新規就農者、認定農業者、農業経営体等が必要な施設、機械、ハウス等を整備する費用に対し、島根県、JA等の関係機関と連携しながら支援を行う。

#### ●担い手経営発展支援事業 補助率1/3以内

農業の新たな担い手の確保と中核的な担い手へ発展していくための支援を行うため、必要な施設・機械等を整備・取得した際に、その事業費に対し補助金を交付する。

#### ●ハウス等整備事業 補助率2/3以内

中核的な経営体を目指す自営新規就農者や認定農業者等の確保・育成や経営発展に必要なハウス等の施設整備に係る事業に要する経費に対して補助金を交付する。



田植機



本舗ハウス（イチゴ）

### 45 新規就農円滑化対策事業 【継続】

1,437万円

農業後継者の高齢化・担い手不足などの課題解消のために、新規就農者の就農に向けた各種資金の交付や地域において就農前から就農後までをトータルでサポート出来るよう、島根県、JA等の関係機関と連携した支援を実施する。

### 46 中山間地域等直接支払交付金交付事業 【継続】 1億7,441万円

高齢化や人口減少が著しい中山間地域等において、農業生産活動の継続に向けた前向きな取組への支援を強化し、新たに第6期対策（令和7～11年度）を実施する。



ドローンによる除草剤散布

**47 全共・全ホル共進会事業 【拡充】 900万円**

令和7年に北海道で開催される第16回全日本ホルスタイン共進会、令和9年に北海道で開催される第13回和牛能力共進会への出品対策及び大会への参加支援を、関係機関で組織する「安来市全共・全ホル出品対策協議会」で行う。本市から牛を出品し、優秀な成績を獲得できるよう支援する。

**48 林業産官学連携事業 【新規】 670万円**

島根大学、米子工業高等専門学校、しまね東部森林組合その他民間企業との連携により、森林整備に関する研究や、木材流通及び木材用途拡大に関する研究及び実証を行う。

**49 林業人材育成拠点整備事業 【拡充】 9,054万円**

林業人材育成拠点整備に係る道路改良及び駐車場の工事を行うとともに、令和6年度中に売買契約に至らなかった土地の取得を進める。



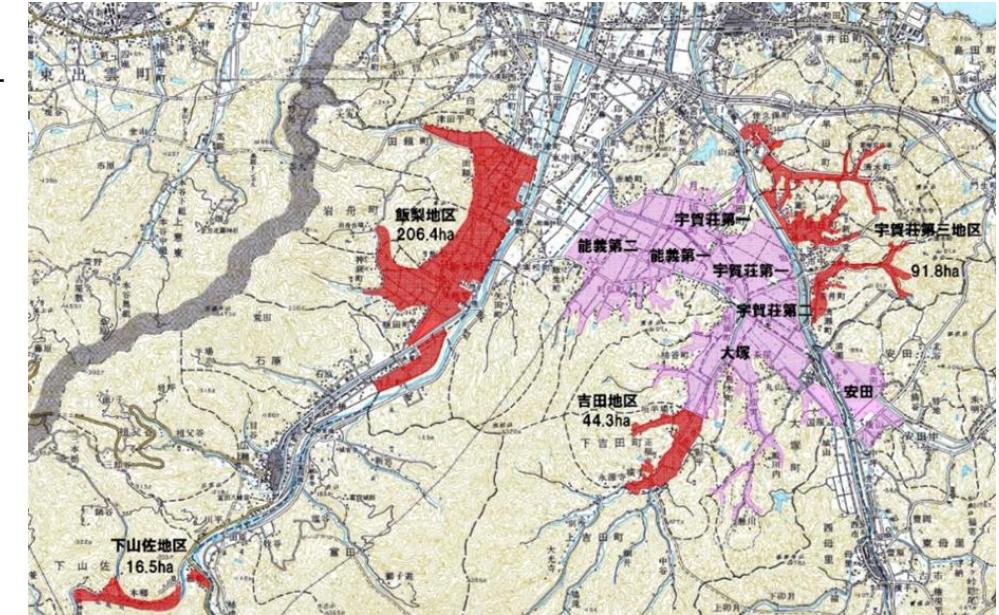
林業人材育成拠点 工事設計図面

## 50 県営農業農村整備事業 【継続】 2億5,810万円

生産コストの低減や流通体制の整備、地域農業の活性化を目的に、県営事業により農業生産基盤整備を行う。また、防災減災事業による農道の整備、大堤の改修も継続して行う。



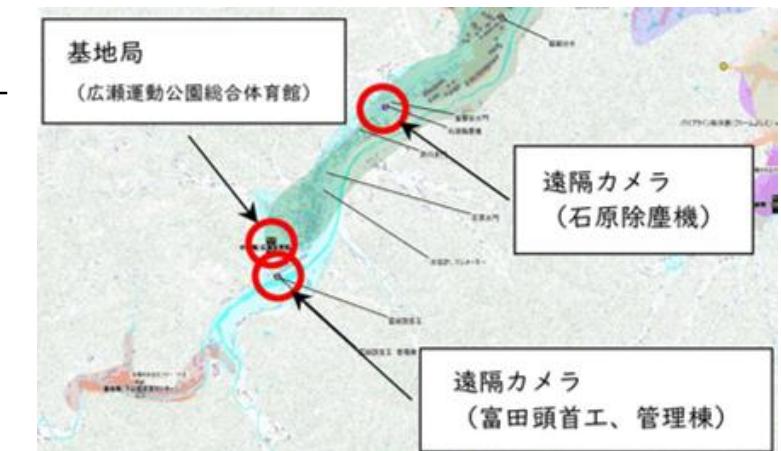
山辺大堤防災重点農業用ため池緊急整備事業



農業競争力強化基盤整備事業 計画区域図

## 51 情報通信環境整備対策施設整備事業 【新規】 1,210万円

農業水利施設等のインフラ管理の省略可・高度化、スマート農業の実装又は地域活性化に必要な情報通信環境の整備を図る。



通信基地局 1基、遠方監視カメラ 2箇所

52 企業立地雇用促進奨励金事業 【継続】 3,060万円

企業等の新設、増設又は移設について要件を満たす場合、企業が投資した投下固定資本総額、増加常用従業員数に応じた助成を行うほか、空き物件の家賃や改修費に係る経費等を奨励金として交付することにより、企業の設備投資及び雇用増大を図る。

53 ソフト産業誘致推進事業 【継続】 664万円

若者や女性などの多様な就労ニーズを満たす雇用の場を創出する。多種多様な産業振興を図るため、IT企業をはじめとしたソフト産業の誘致を効果的に促進する。

54 安来節振興事業 【継続】 7,035万円

安来節の認知度をさらに高めるとともに、伝統芸能・安来節を後世に伝えていく。令和6年度に制作した「ネオ安来節」も活用し、各種イベントでの披露やSNS等により、安来節の魅力を広く発信する。

●主な内容

- ・安来節演芸館指定管理料 5,500万円
- ・安来節保存会補助事業 600万円
- ・安来節普及宣伝事業など 935万円



安来節全国優勝大会の様子

## 5. 都市基盤・生活

45億2,717万円

### 55 立地適正化計画策定 【新規】

2,030万円

適切な居住地域の人口密度を保つため、居住者の誘導を図る区域、公共施設や公共交通など都市機能の誘導を図る区域を都市計画区域に定めることができる立地適正化計画の策定に着手する。

### 56 高留鼻線道路改良事業 【継続】

1,000万円

現在、本路線の隣接地において、民間企業による土地利用計画の取組が進められている。しかしながら、現道幅員が狭い上に開発地と工業団地が市河川を跨いだ地形であることから、道路整備（現道拡幅、橋梁架設）が必要である。令和7年度は地質調査業務を行い、民間の計画に歩調をあわせ、道路整備事業の進捗を図る。

### 57 黒井田町地内埋蔵文化財発掘調査事業 【継続】 1,572万円

黒井田町地内で予定されている工場用地造成に伴い発掘調査を行う。調査面積は700m<sup>2</sup>、3か月程度の調査期間を予定。調査費用については原因者負担とし、費用の全てを開発者との受託契約に基づき調査を実施する。



## 58 安来港飯島線道路改良事業 【拡充】

6億3,010万円

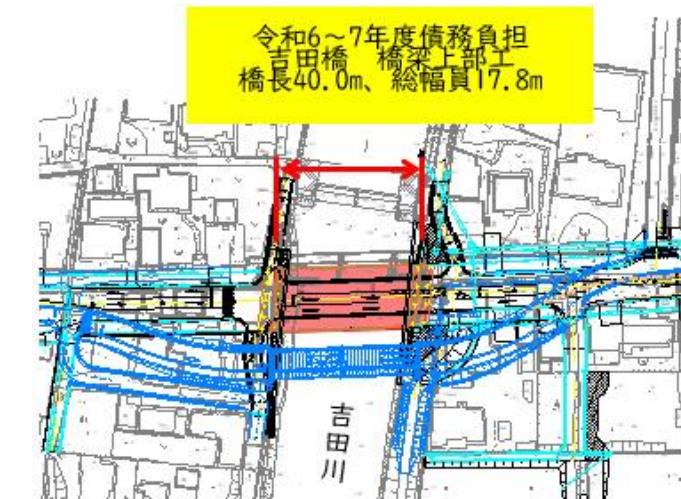
安全かつ快適な交通の確保のため、両側歩道及び車道の拡幅整備を行う。令和7年度は、主に吉田橋橋梁上部工（令和6～7年度債務負担）、道路改良工事、電柱・水道の物件移転補償及び仮設迂回路に伴う敷地借上を行う。



## 59 原代宮内線道路改良事業 【継続】

1,530万円

現況の道路は歩道が未整備であり、歩行者が非常に危険な状況であることから、早急な整備が必要である。令和7年度は排水構造物工、舗装工、縁石工及び物件移転補償（水道）を行う。



**60 広域生活バス代行運行事業 【新規】 129万円**

全国的なバスドライバー不足の進捗により、バス路線の維持が困難になってきている状況に対応するため、イエローバスの代行として路線の一部（広瀬＝宇波線）でタクシー車両を使用する事業を実施する。



**61 宇賀荘あいのりタクシー事業 【拡充】 984万円**

宇賀荘あいのりタクシーでのデマンド輸送事業を実施し、利便性の向上と市民理解を高めるとともに、利用を拡大していくための事業内容を検証する。



**62 空家等対策事業 【拡充】 2,030万円**

安来市空家等対策計画に基づき空き家の発生抑制の啓発、空き家の利活用及び適正管理の促進、管理不全空家等及び特定空家等に対する認定及び措置を行う。令和7年度は、空き家管理システムを業務効率化を目的に安来市統合型GISのサブシステムへ移行を行う。

**63 旧長谷津団地譲渡事業 【新規】（債務負担行為） 1億5,000万円**

令和5年度から一部区画を建物解体条件付き譲渡入札により民間事業者へ譲渡し、宅地分譲を進めている。残り区画について、解体期間を令和7年度から令和8年度とした譲渡入札を令和7年度に行い、宅地分譲に向けて準備を進める。

広域生活バス代替輸送事業  
(広瀬＝宇波線)

宇賀荘あいのりタクシー

## 64 公営住宅等整備事業 【拡充】 3億4,442万円

安来市公営住宅等長寿命化計画に基づき、既存及び将来の公営住宅等の整備に係る事業を行う。現在の末広・大栄団地を用途廃止、1団地に集約し、新たに公営住宅として20戸を現地に整備する。

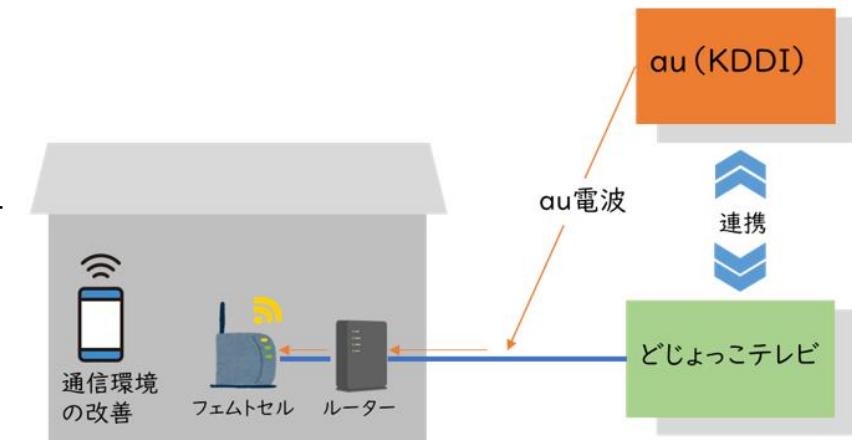
- 令和6年度から令和7年度にかけて、第1期工事として6戸を建設中。
- 令和7年度から令和8年度にかけて、第2期工事として8戸を建設する。

## 65 水道施設等耐震化事業 【継続】 (水道事業会計)

新たに策定した「安来市上下水道耐震化計画」に基づき、今後は、取水施設や浄水場、配水池などの重要な水道施設並びに上下水管路の老朽度に関わらず災害時の拠点病院や避難所などにつながる管路の耐震化を最優先に進める方針とし、住民生活の生命線である水が、災害によって絶たれることのない強い上下水道を目指して取り組みを進める。

## 66 フェムトセル設置事業 【継続】 190万円

超小型基地局（フェムトセル）の設置を委託することで、携帯電話の不感世帯の電波環境を改善しデジタルデバイドの解消を図る。



フェムトセル設置委託事業イメージ図

## 6. 自然・環境保全

7億4,563万円

### 67 景観計画策定 【新規】

713万円

今後の安来市として良好な景観を維持するため、景観計画の前提となる、景観行政団体に令和7年度から移行し、景観計画の策定に着手する。

### 68 再生可能エネルギー普及事業 【継続】

1,435万円

令和4年度に策定した「安来市再生可能エネルギー地産地消ビジョン」に基づき事業を実施する。また、再生可能エネルギーの普及促進を図るため、設備設置費の補助を行う。

#### ●再生可能エネルギー普及事業

ペロブスカイト太陽電池の普及に向けた機運醸成を図る。理解促進のための学習会等を行う。

#### ●再生可能エネルギー機器等設置費補助金

太陽光発電設備、蓄電池設備、太陽熱利用設備、木質バイオマス熱利用設備



住宅太陽光発電

### 69 再生エネルギー関係条例制定

市内で設置される再生可能エネルギー設備が地域と共生した普及が図られるよう、国が定めている法令やガイドラインを補完する条例について、令和7年度中の制定を目指して検討を進める。

### 70 ごみ減量化・資源化事業

環境に配慮した再資源化処理の推進のため、民間企業との連携により、使用済ペットボトルを新たなペットボトルに再生する「ボトルtoボトル水平リサイクル」を開始する。

# 7. 参画・協働・行財政

27億3,231万円

## 71 地域づくり推進事業 【継続】 1,440万円

地域課題解決のために行われる市民活動に対し補助金を交付し、地域活性化を推進する。また、令和4年度に開催した交流センターを核とした地域づくりのあり方検討委員会の報告に基づき、新たな地域運営組織の立ち上げや地域課題解決に向けた取り組みの円滑な実施などを支援する。



人口統計を基にした座学  
(安田地区)



地域づくりとひとづくりについて討論  
(宇賀荘地区)

## 72 ペーパーレス議会・会議導入プロジェクト事業 【新規】

447万円

DX推進計画の個別施策の一つとして掲げるペーパーレス議会・会議の導入について、ペーパーレス議会を先行し、市議会議員選挙後の令和7年11月開会会議から導入する。



## 73 電子決裁・文書管理支援事業 【継続】 654万円

電子決裁・文書管理システムについて、令和7年4月1日からシステムの本稼働を行い、文書管理等の正確かつ効率的な運用を図る。

## 74 総合行政システム管理事業 【新規】 2億273万円

総合行政システムの保守管理ならびに社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）への対応を行う。法律等に基づき、令和7年度末までに住民基本台帳システムなど、全自治体が使用する20の基幹情報システムを統一された仕様に基づく標準準拠システムに切り替え、あわせて稼働環境をクラウド環境（ガバメントクラウド等）とする。

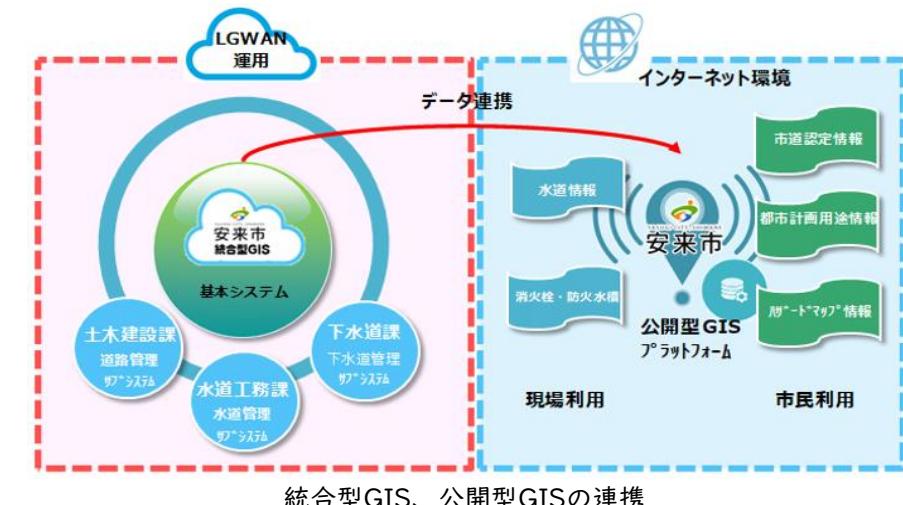
## 75 統合型GIS運用管理事業 【継続】 347万円

統合型GIS（地理情報システム）の保守管理を行う。また、市民等から問い合わせの多い情報や現場で利用したい情報を公開型GISプラットフォームにより公開する。

- 統合型GIS…個別に運用していたGISを集約した全職員が業務に利用できるシステム
- 公開型GIS…現場利用及び市民利用を可能としたインターネット環境にあるシステム

20業務 システム	住民基本台帳	国民健康保険	選挙人名簿管理	固定資産税	児童手当
	印鑑登録	国民年金	個人住民税	介護保険	児童扶養手当
	戸籍	後期高齢者医療	法人住民税	障害者福祉	健康管理
	戸籍附票	就学	軽自動車税	生活保護	子ども子育て支援

情報システムの標準化・共通化対象業務



## 76 公共施設使用料等の見直し検討 【新規】

公共施設を適切に維持管理するため、令和7年度において使用料等の見直しを検討する。

# 令和6年度一般会計補正予算 (3月補正予算)

# 令和6年度一般会計補正予算（第10号）

## I 補正予算の概要

障がいのある方の自立支援給付費、障がい者（児）サービス給付費を増額補正する障がい者総合支援事業、妊婦の方の妊娠期の経済的負担軽減を図る出産応援デジタルギフト贈呈事業、市内の救急医療を実施する救急告示を受けた社会医療法人を支援する公的病院等支援事業、病院事業会計へ必要な経費を負担する病院事業会計負担金、島根県で実施している農業農村整備事業に負担金を支出する県営農業農村整備事業、農道施設の長寿命化のための調査を行う農村整備事業（計画策定等事業）、財政調整基金、減債基金への積立、特定目的基金の統合に係る積立金を計上しました。

【歳入歳出総額】	補正前 28,656,164千円 補正額 1,017,000千円 補正後 29,673,164千円（対前年同月比+7.3%） ※参考：令和5年度3月補正（その2）後予算額27,655,697千円
----------	--

【繰越明許費の補正】	12件の追加、1件の変更
【債務負担行為の補正】	4件の追加
【地方債の補正】	125,400千円の減額

# 令和6年度一般会計補正予算（第10号）

## 主な補正事業

	事業名	事業費
(1)	障がい者総合支援事業	20,660千円
(2)	出産応援デジタルギフト贈呈事業	2,000千円
(3)	公的病院等支援事業	20,000千円
(4)	企業会計負担金(病院事業)	54,858千円
(5)	県営農業農村整備事業	52,835千円
(6)	農村整備事業(計画策定等事業)	8,200千円
(7)	基金積立金	1,838,193千円

